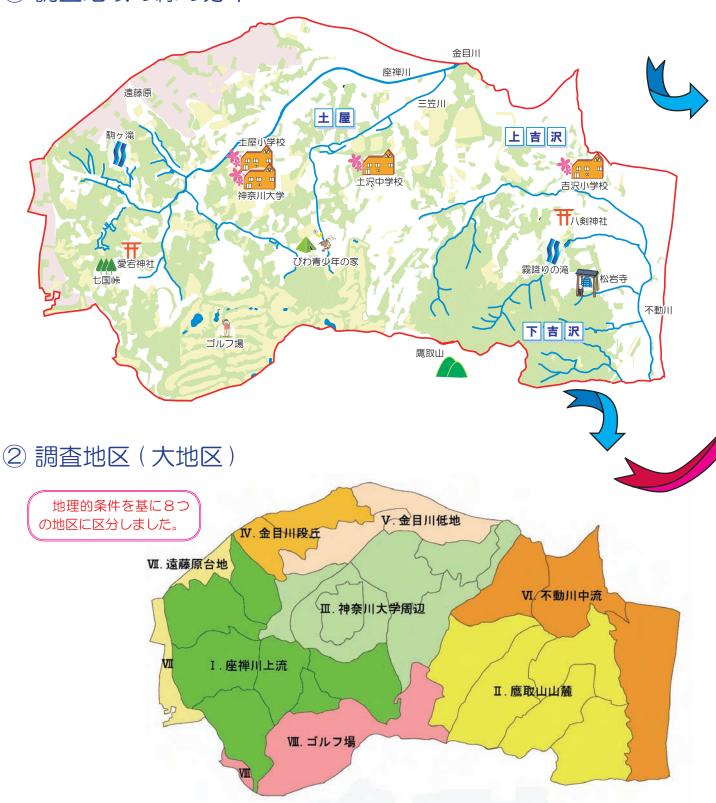
3. 調査地域の区分

調査地域を理解しやすいように、地形、土地利用、緑のまとまりを目安に、大きく8つの地区に区分し、大地区としました。さらに、各地区をより詳細にみるために29の小地区に細区分しました。この大地区、小地区を単位として評価を行いました。

① 調査地域の緑の分布



11

③ 調査地区(小地区)



◇調査地区区分の条件

大地区	おもな地域	含まれる小地区	概況
Ⅰ.座禅川上流	土屋南西部(愛宕山周辺、琵琶)	1,2,3,4,5,6,7	樹林が核となり、谷戸*3 や草 地も混在する地区
Ⅱ.鷹取山山麓	上吉沢南部、下吉沢西部	8,9,10,11,12	西部丘陵地域ではもっともまと まりのある樹林で、渓流が流れ る地区
Ⅲ.神奈川大学 周辺	土屋旧字早田付近	13,14,15,16,17,18,19	住宅、樹林、農耕地が混在し、 IとIの環境をつなぐ地区
Ⅳ.金目川段丘	土屋字遠藤原東部	20,21	段丘面は畑地が多く、段丘崖に 細長く樹林が残る地区
V . 金目川低地	土屋旧字小熊付近	22,23	金目川沿いの広い水田が特徴的 な地区
Ⅵ.不動川中流	上吉沢吉浜、神戸付近および下 吉沢東部	24,25,26	低地を不動川が流れる。住宅地 が比較的多い地区
Ⅶ.遠藤原台地	土屋字遠藤原西部	27,28	台地上の畑地
Ⅷ.ゴルフ場	レイクウッドゴルフクラブ	29	ゴルフ場

^{*3} 谷戸:丘陵地の谷間の低地。多くが水田として利用されてきた。水辺と樹林がセットであるの で多くの生物が生息する。